高円宮杯 JFA 第38回全日本U-15サッカー選手権大会　四国予選　実施要項

1.名　　称
高円宮杯 JFA 第38回全日本U-15サッカー選手権大会　四国予選

2.主　　催
一般社団法人四国サッカー協会

3.主　　管
一般社団法人愛媛県サッカー協会、一般社団法人香川県サッカー協会
一般社団法人徳島県サッカー協会、一般社団法人高知県サッカー協会

4.協　　賛
株式会社モルテン

5.日程および会場

【1回戦】 令和8年11月7日（土）

香川会場	【会場】瀬戸大橋記念公園球技場第4グラウ	【住所】香川県坂出市番の州緑町6-13
愛媛会場	【会場】桜井海浜ふれあい広場サッカー場	【住所】愛媛県今治市桜井甲1130-2

【準決勝】 令和8年11月8日（日）

徳島会場	【会場】鳴門球技場(天然)	【住所】徳島県鳴門市撫養町立岩四枚61番地

【決勝】 令和8年11月14日（土）

徳島会場	【会場】鳴門球技場(天然)	【住所】徳島県鳴門市撫養町立岩四枚61番地

【予備日】 令和8年11月15日（日）

徳島会場	【会場】未定	【住所】

6.参加資格
(1)本協会第3種または女子に加盟登録したチームであること（準加盟チームを含む）。
(2)本大会に出場する選手は、県大会プレーオフを通して、他のチームで参加していないこと（U-15リーグは除く）。
(3)中学校体育連盟加盟チームは、その中学校に在籍し、かつ、本協会の女子加盟チーム登録選手を、移籍手続を行うことなく、本大会に参加させることができる。ただし、登録している女子加盟チームが本大会に参加している場合を除く。
(4)本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、一クラブ内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は第4種年代のみとし、第3種およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
(5)選手数が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合においてのみ認める。尚、11名以上の選手を有するチーム同士の合同チームに関しては、全国中学校体育大会複数合同チーム参加規則に則る。
a.合同するチームおよびその選手は、それぞれ(1)および(2)を満たしていること。
b.極端な勝利至上主義を目的とする合同ではないこと。
c.大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
d.合同チームとしての参加を当該県サッカー協会第3種委員長が別途了承すること。

7.参加チームとその数
参加チームは、以下の計8チームにて行う。
高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ2026四国クローバーリーグ4チーム（2026年度は2位～5位）
愛媛県：1チーム　香川県：1チーム　徳島県：1チーム　高知県：1チーム　　計：8チーム

8.大会形式
8チームよるノックアウト方式にて優勝チームを決定する。

9.競技規則
大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。
「競技会で選択可能」と定められている、以下3項目を適用する。
1) 競技者が、不適切な発言、侮辱、またはその他の攻撃的もしくは差別的な発言が発覚しないように自分の口を覆う行為
罰則内容：退場となる反則
2) 競技者が、主審の判定に抗議し競技のフィールドを離れる行為
■競技者、交代要員、交代して退いた競技者は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
・プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技のフィールドを離れる
・プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、他の競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
■チーム役員は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
・たとえ競技者が競技のフィールドを離れなかったとしても、プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
罰則内容：退場となる反則
3) フィールド外での治療および診断の手続きについて
出血・頭部負傷により、フィールド外で治療となった場合において、治療/診断が不要、もしくは治療/診断が短時間で完了すれば、1 分を待たずして、フィールド内に復帰できる

10.競技会規定
以下の項目については本大会の規定を定める。
(1)競技のフィールド
天然芝フィールドおよび人工芝フィールドにて行う。
(2)ボール
試合球はアディダスコネクト26プロ(ADF530)とする。（本協会で試合球は準備します。）

(3)競技者の数及び交代回数
①競技者の数:11名
②交代要員の数:9名以内
③交代を行うことができる数:5名以内
④80分間の交代回数は、各チーム最大3回とする(1回に複数人を交代することは可能)。ただしハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
⑤延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる(直前の80分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。
⑥脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
a. 脳震盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳震盪交代」という)は、通常交代に含まれない。
b. 脳震盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行わなければならない。
c. 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
d. 脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に1名1回の交代を追加で得ることができる(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
e. 1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。
(4)役員の数
ベンチ入りできる役員の数:5名以内
(5)テクニカルエリア:設置する
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人が伝えることができる。
(6)競技者の用具
①ユニフォーム
a. 本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
b. Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。Jリーグユニフォーム要項で認められたユニフォームで黒に近い色を着用する場合は、当該試合の対戦チームと明確に判別し得る色の審判カラーシャツ4人分(半袖及び長袖)を当該チームが持参しなければならない。
c. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込に登録し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。本協会に登録されたものを原則とする。
d. 主審は、対戦するチームのユニホームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
e. 前項の場合、審判は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
f. シャツの前面・背面に参加申込にて登録した選手番号を付けること。
g. ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
h. ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
i. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
②キャプテンアームバンド
本協会によって用意または認められたアームバンドのみ着用が認められ、本協会によって認められたアームバンドを着用する場合は本協会ユニフォーム規定に準拠すること。
(7)試合時間
①試合時間は80分(前後半各40分)とする。
ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで):原則10分間
②試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝敗が決しない場合)
1回戦～準決勝:PK方式により勝者を決定する。
決勝:20分(前後半各10分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。
延長戦に入る前のインターバル:5分間
延長戦ハーフタイムのインターバル:なし
PK方式に入る前のインターバル:1分間
③ アディショナルタイムの表示:行う
(8) その他
①第4の審判員の任命:行う
②負傷者の対応:主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される
③本大会はキャプテンオンリーを適用し、「キャプテンオンリーガイドライン」に則り実施する。
④ ユニフォームの正副の選択権:四国クローバーリーグの上位チームに選択権がある。
準決勝以降、各県代表チーム同士の対戦となった場合は、コイントスとする。
⑤落雷や自然災害が生じた場合の対応:

1時間程度の中断の上、四国3種委員長会議において、その処置を検討する。試合続行不可能な場合は、後日試合中断後からの再試合とする。(尚、メンバーについては試合中断時のメンバーでの再試合とする。)但し、やむを得ない事情で該当選手の出場が困難な場合は、交代手続きにより再開することとする。

11.懲　罰
(1)本大会の予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点で退場による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。ただし、警告の累積による場合を除く。
(2)本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律・裁定委員会を設ける。
(3)大会規律・裁定委員会の委員長は四国規律・裁定委員長とし、委員については四国3種委員長が決定する。
(4)本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、次の1試合に出場できない。
(5)本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については担当県規律・裁定委員会において協議し、四国サッカー協会規律・裁定委員会が決定する。
本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律・裁定委員会にて決定する。

12.マッチ・ウェルフェアオフィサーの設置

【ウェルフェアオフィサーとは】
リスペクトやフェアプレーを啓発、促進し、暴力、差別等の予防活動を通じて、問題を未然に防ぐ、また、顕在化した諸問題に対応、解決を図ると共に、問題の内容や重大さによって司法機関や諸関連機関への橋渡しとしての役割を担う。(JFA通達文書より)

(1)今大会は、全試合にマッチ・ウェルフェアオフィサーを設置する。
(2)マッチ・ウェルフェアオフィサーは、暴力・暴言に対する指導及び行き過ぎた指導や応援に対する注意を行う。
(3)上記の(2)においては、一般社団法人四国サッカー協会理事会にて報告する。

13.マッチコーディネーションミーティング
(1)両チーム監督・試合担当審判団・ウェルフェアオフィサーの立ち会いのもと、試合開始80分前に本部で行う。
(2)両チームのユニフォームの決定、諸注意事項等を確認する。
(3)メンバー表は各試合ごとに、試合開始90分前までに本部に2部、相手チームに1部提出すること。

14.組み合わせ
令和8年8月開催の四国3種委員長会議で抽選を行い、決定済み。

15.閉会式
決勝戦が終わり次第行う。

16.全国大会
優勝チームは12月12日(土)から行われる高円宮杯全国大会に出場する。

17.大会参加申込
(1)1チームあたり35名(役員5名、選手30名)を最大とする。
(2)参加チームは、所定の申込書1部(協会長印のあるもの)を(4)の期日までに、(3)の宛先に送付すること。
プライバシーポリシー同意書も送付すること。
【Excel形式の参加申込書の入ったメールを送付いたします。】
(3)宛先
①参加申込書(紙媒体:協会印押印のもの)とプライバシーポリシー同意書(代表者印押印のもの)は郵送
〒770-0864 徳島県徳島市大和町2丁目1-6(一社)四国サッカー協会
(一社)四国サッカー協会第3種委員長 櫻井 篤史 宛
②参加申込書(電子媒体(デジタルデータ))は、下記アドレスまでメールにて送付。

(4)申込期限:2026年10月27日(火)17:00
(5)参加申込以降、選手の変更は原則認めない。ただし役員の変更は可能とする。

18.参加料

1チーム 20,000円とする。

19.選手証
各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証を持参すること。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

20.表 彰
優勝以下第2位までのチームに表彰状を授与する。優勝チームには優勝カップを授与し、次回大会までこれを保持せしめる。

21.傷害保険
(1)チームの責任において傷害保険に加入すること。
(2)大会期間中の事故については、主催者側は一切責任を負わない。

22.画像や動画の取扱いについて
(1)本大会の画像や動画の取扱いには十分に注意すること。
(2)個人やチームが選手や試合風景の画像や動画をHPやSNSにアップしたことによって、万が一起こってしまったトラブルについては主催者側は一切責任を負わない。

23.その他
大会要項に規定されていない事項については四国3種委員長会議において協議の上決定する。

以上